

## 意見書

今定例会では、次の意見書が提出されました。

◎看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書

「送付先」内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣

◎介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書

「送付先」内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣

◎安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書

「送付先」内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣、福岡県知事

◎食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを求める意見書

「送付先」衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣府特命担当大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣

◎妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書

「送付先」内閣総理大臣、厚生労働大臣

# 一般質問

6月定例会の一般質問は、7月1日から3日の3日間行われ、15名の議員が市政の各分野にわたって質問しました。一般質問は、議案と関係なく市政全般にわたり執行機関に対して、執行状況や将来に対する方針などについて所信を尋ねたり、報告、説明を求めるものです。

## 渡辺克也議員

**質問** もとりあじさい祭りについて

市外からも多くの人が訪れているこの祭りを、市はどのようにとらえているのか。また、あじさいの管理は全てボランティアで行っているが、支援はできないのかを問う。

**答弁** 市としても、この祭りは貴重な観光資源と考えている。現在、もとりあじさい園は風致公園として共用を開始していないため支援は難しいが、今後、協議会と協議していく。

## 高宮 誠議員

**質問** 直方市における発達障がい児への施策について

自立して様々なことにチャレンジし、社会人として生きていけるためにもスキルを高めることが現在の支援体制においてできているのかと思うことがある。

親として、また放課後学習に携わっている者として、現在の支援体制の課題について問う。

いて問う。

**答弁** 本市は、発達に遅れや障がいのある子どもを早期に発見し、早い段階から療育に取り組んでおり、子どもの特性や発達段階に応じた学習支援を実施している。また、卒業後の就労支援やあらゆる場面での相談事業にも努力している。

今後も、各部署が連携し、切れ目のないフォローを継続的に行っていく。

**質問** 市長の所信表明並びに今後の市政について

一度に全ての施策を実行することは財政上も不可能である。

そこで、市長が何を重視し、何に力を注いで行政運営を行っていくのかを問う。

**答弁** 投資のないところに成長はない」との考え方を基本に市政運営に取り組んでいく。

本市の財政状況を十分に考慮した上で、ハード及びソフト両面の優先分野を明確にして投資を行い、市民所得の向上に力を注ぎたい。

## 野下昭宣議員

**質問** 市長の政治姿勢について

5本の事業（筑鉄延伸、小中一貫校、給食センター、し尿処理場建設、福祉センター）では、進んだものもあれば頓挫しているものもある。前期4年間、我々議員も前市長とともに課題の解決に取り組んできたが、新市長は、所信表明において前期4年間を批判するような評価をしているように思える。

そこで、今後の市政運営に当たる市長の思いを問う。

**答弁** 今後の市政運営については、傾聴の姿勢を大切にし、市長の真意を市民に伝えていくことが必要と考えている。本市の財政は厳しい状況ではあるが、全ての事業を凍結するのではなく、市の発展に必要な事業については事業化に向けた道を探りたい。

「投資のないところに発展はない」との考え方で行政運営を行っていく。

矢野富士雄議員

**質問** 平成30年西日本豪雨の経験を踏まえた上での市の防災行政について

昨年の西日本豪雨では、遠賀川が越流・決壊してもおかしくない状況となり、市内全域に避難指示が出された。

そこで、この経験を踏まえ、本市の防災行政がどのように変わったのか、対応策や予算を含めて問う。

**答弁** 自治区長や消防団などの検証会議及び市民アンケートを基に市役所内部についても検証し、災害対策本部や連携体制の強化などを見直した。また、昨年の災害では約3000人の方が避難して避難所が混乱したことを踏まえ、避難所となる小中学校及び要配慮者などへの対応や支援を行う部署の増員を行った。

昨年使用した資機材や備蓄食料の補充を含め、約1800万円の防災関連予算を計上している。

村田明子議員

**質問** 放課後児童クラブ「学童保育」について

支援員の資格や配置員数の基準が緩和されることから、支援員の質の低下も懸念されるが、これに対する市の対応、また本市の待機児童の現状とその対策について問う。

**答弁** 本市の条例では、支援員は2名体制としており、このうち1名は常勤支援員を配置する基準を設けている。また、高い賃金の保証と労働環境の確保に努めている。

今後、ますます児童クラブ利用の需要が高まると見込まれるが、現在の体制を維持していく意向である。

森本裕次議員

**質問** ふるさと納税について

本市は、過度な返礼品を取り扱ったことがふるさと納税の趣旨に反することとなり、国から指導を受ける結果となった。

そこで、このような事態

に至った経緯とその反省点、また、今後の方針について問う。

**答弁** 業者からの提案で、12月限定で家電製品を返礼品に追加した結果、多額の寄附が集まったものの発送が遅れ、寄附者や市民の皆様に大変なご迷惑をお掛けした。

今後は、本来の趣旨に基づいた適正な運用を行い、本市のイメージアップやふるさと納税の増大につながる取り組みを行い信頼の回復に努めたい。

**質問** 川端川の改修について

本市は低地が多く、国営営河川の氾濫が市民生活を脅かす状況になっている。

そこで、近年の災害状況と国県が管理する河川の整備状況、中でも未整備の川端川の今後の方向性について問う。

**答弁** 昨年の7月豪雨では、市内で90棟の家屋浸水被害が発生した。

現在、国は河川水位の低下や堤防強化に取り組んで

おり、県も福地川や藤野川の改修事業を行っている。川端川については、過去にも家屋の浸水被害などの甚大な被害が頻発しており、早急な取り組みが必要であると認識している。

今後は、国や県と連携して川端川流域の浸水対策に取り組んでいきたい。

那須和也議員

**質問** 高齢者乗車券の制度創設について

高齢者の社会参加を支援することを目的とした制度が各地で取り組まれているが、本市においても、その一環としてタクシーやコミュニティバス、その他の公共交通にも使える「高齢者乗車券」制度の創設を求める。

**答弁** この制度創設に関しては、大きな財政負担を伴うことが予測されるため、関係各課と慎重な議論が必要であると考ええる。

またコミュニティバスの割引については、回数券や定期券を検討しているものの、その利用者の多くが高齢者

である現状から、高齢者に特化した割引は困難であると考ええる。

**質問** 通学路の国・県・市道の安全対策について

子どもが犠牲になる痛ましい事件や事故が各地で発生しているが、本市においても、通学路を含めた安全性の確保及び向上は重要である。

そこで、総点検を実施して対策を講じる必要があると思うが、市の見解を問う。

**答弁** 本市では、各学校が通学路を点検後、「直方市通学路安全推進協議会」への要望を通して危険箇所への対応を行っている。また、直方市通学路交通安全プログラムに取り組んで通学路の安全向上を図っている。

今後も学校での安全教育と地域の協力を継続し、児童生徒の安全安心に努める。



佐藤 信勝 議員

**質問** 直方市の農業について

減反政策からの転換により、再び米を作りだしたところから米の単価も下がるなど、農業だけでは生活が苦しい状況である。高齢化や後継者不足、また米の値上げもできず、このままでは農業従事者がさらに減るのではないかと危惧する。

そこで、本市が取り組む米粉を初めとした農業施策について問う。

**答弁** 市では、主食用米の代わりに米粉用米・飼料用米・麦・大豆の作付を計画しており、国の交付金を有効活用して農業者の所得向上に努めている。また、後継者不足による遊休地の増加に対し、地域の担い手への農地集積・集約化を行い、持続性のある地域農業の実現に向けて取り組んでいる。

安永 浩之 議員

**質問** 自転車活用推進の取り組みについて

本市から北九州市若松区へと走る「直方北九州自転車道」が開通間近となっており、「飯塚直方自転車道」と「遠賀宗像自転車道」を含めたコースは、サイクリストの注目を集めている。そこで、開通時期や自転車活用に関する市の見解、また、県との連携策について問う。

**答弁** 直方北九州自転車道は今年秋を目標に県が整備を進めている。健康増進や自治体の魅力発進など様々な利活用が考えられ、サイクリストだけではなく、市内外の一般の方やインバウンドも対象として地域の活性化につなげていきたい。また、県とは自転車道開通イベントでの連携を図っている。

**質問** 地域内経済循環について

地域の経済循環構造がうまく機能していないことから、従来の経済構造を再構築して地域の活性化を図ることが必要である。そこで、行政として外部への所得流出対策と地元中

小企業への振興対策について問う。

**答弁** 本市が発注する公共工事や物品・役務などの調達については、直方市中小企業振興条例に基づき市内事業者が優先して発注している。

この条例の見直しについては、制定の経緯や内容を検証し、市長の諮問機関である直方市中小企業振興審議会の中で議論したい。



**質問** 市所有水路の維持管理について

共助で行われていた水路の清掃管理が、高齢化や地域コミュニティの弱体化によりできなくなってきたおり、市への清掃依頼が増加している。この傾向は今後も加速していくものと思われる。

そこで、現在の維持管理の方法やしゅんせつの状況について問うとともに、市

民協働で行うための手法について問う。

**答弁** しゅんせつの依頼件数は年々減少傾向にあり、側溝の整備や下水道の普及が進み、生活環境が改善傾向にあると思われる。直営や指定管理者に委託、また、入札業者に発注するなど限りある財源の中で工夫をしていかなければならない。

篠原 正之 議員

**質問** し尿処理場建設について

現在の進捗状況と完成時期のほか、建設に当たって地場企業との兼ね合いについて問うとともに、今後、下水道の普及に伴い1日当たりのし尿の搬入量も減少が予想されるが、市が運営していくのか。または民間に委託するのかについて問う。

**答弁** 現在、詳細設計協議を行っているが、今年度末までに、全体の約50%が完成する見込みであり、令和3年4月1日からの供用開始を目している。

また、総合評価落札方式において、「地元企業との協力・連携」という評価項目を設けたことにより、今回の工事において、市内業者へ、約16億円の発注が見込まれる。

さらに、公共下水道事業の進捗に伴い、搬入される、し尿は減少が見込まれるが、浄化槽汚泥などは引き続き排出されると考えられ、今後の管理運営体制について慎重に検討を進めている。

**質問** 中心市街地活性化に伴う未利用地の活用について

駅前のシャッター街化のように、飲食店街（有楽町）も店舗数が減少してきている。

そこで、耐震化した後に空き地となっている御館橋の下に、話題性のある屋台村などをつくり、飲食店街の活性化を図るために行政の協力は必要不可欠だと考えるが、市の見解を問う。

**答弁** 中心市街地においては全体としてしゅんせつが重要であり、有楽町には社交とい



う面での機能を担っていた  
だいていと認識している。  
屋台村などの活性化策につ  
いては、有楽町としての具  
体的な総意としてご相談  
いただき、課題について一  
緒に検討すべきだと考える。

#### 紫村博之議員

**質問** 本市の教育に対する  
市長の基本的な考えにつ  
いて

児童虐待やいじめ、不登  
校など課題が山積する中、  
市長は所信表明において、  
「産炭地からの後遺症に悩む  
本市の現状、ますます社会  
の中で格差が拡大している  
現状を考えたとき、対応策  
としては教育こそ重要であ  
る」と言われている。

そこで、市長の教育に対  
する基本的な考えを問う。

**答弁** 教育は、子どもたち  
の可能性を信じ、家庭・地域・  
学校が連携し、人間性を豊  
かに育てていくことが大切  
である。

本市の課題は、他の地域  
より学力が下回っているこ  
とに端的に表れていると考  
えている。何が原因なのか

を研究し、対応することが  
必要である。また、人生の  
ベースとなる幼児教育の充  
実も進めたい。

さらには、子どもたちが  
夢に向かって、それぞれス  
イッチが入るような取り組  
みを行っていききたい。

**質問** 健康寿命の延伸につ  
いて

人生100年時代と言わ  
れて平均寿命は延びている  
が、健康寿命は延びておら  
ず、要介護の期間が長くな  
ってきている。

市長の所信表明にも「健  
康寿命を延ばす取り組みを  
強化する」とあるように、  
本市の取り組みと市長の基  
本的な考えを問う。

**答弁** 各種団体や様々なイ  
ベントなどと連携を図るこ  
とで生活習慣病予防の必要  
性や重要性の認知度を高  
め、特定検診の受診率向上  
につなげていきたい。また、  
高齢者に対する健康づくり  
対策として、地域における  
百歳体操や生きがい活動と  
いった自主活動団体の支援、  
普及に努めていく。

#### 渡辺和幸議員

**質問** 幼児教育、保育無償  
化について

昨年の9月議会でも取り  
上げたが、そのときには不  
確定な部分が多かった。

そこで、実施を目前に控  
えた現在、改めて内容を確  
認するとともに、実費負担  
となる給食費をはじめ懸念  
される問題について問う。

**答弁** 本年10月より保育費  
用は無償化となるが、給食  
費は保護者の負担となる。  
給食費の徴収については、  
施設が行なうこととなり、  
現場の負担が懸念されるが、  
市では保育現場及び保護者  
への説明会を実施するなど、  
できるだけ混乱のないよう  
周知に努めていく。

**質問** 国民健康保険制度の  
現状と国保税の引き下げに  
ついて

昨年度から国保制度が県  
単位化され、自治体との共  
同運営となっているが、そ  
の現状を問う。

また、他の保険制度には  
ない平等割や均等割がある

ために負担率が高くなって  
いるが、軽減ができないの  
か。特に、子育て支援の観  
点から子どもの均等割の減  
免を求める。

**答弁** 加入者の高齢化に伴  
う医療費の増加や保険税の  
上昇が懸念されていること  
から、国に対し、低所得者  
への負担軽減策の拡充・強  
化など国庫負担の拡充を求  
めている。

国保税については、来年  
度の県納付金や今後の医療  
費などの推移を勘案しなが  
ら検討していく。

#### 宮園祐美子議員

**質問** 自治体における子育て  
応援アプリの推進につ  
いて

子育て世帯の家族形態や  
就業形態が多様化する中、  
様々な子育て支援が求めら  
れているが、子育て世帯の  
多くが利用するスマート  
フォンを活用して気軽に情  
報を得られるような仕組み  
が必要である。また、災害  
で母子手帳を紛失した際  
にも対応が求められる。  
そこで、スマートフォン

向け子育て応援アプリの導  
入について問う。

**答弁** 現在、ホームページ  
や市報の他に「のおがた子  
育てガイド」の小冊子を活  
用して子育て情報を提供し  
ている。

今後は、本市のメール配  
信「つながるのおがた」に  
より情報発信の強化に努め  
ながらアプリの研究も行っ  
ていきたい。

**質問** 自転車保険加入の促  
進を求める取り組みにつ  
いて

自転車が原因により歩行  
者が死傷した事故のうち、  
保険に加入していた自転車  
は、平成29年では約6割に  
とどまっている。保険に未  
加入であるために高額な賠  
償金を払うことができない  
場合、被害者は十分な補償  
を受けることができない。  
そこで、保険の加入につ  
いて自転車販売店が購入者



へ、また、学校が自転車通学生の保護者に声をかけすることはできないのかを問う。

**答弁** 市として自転車損害賠償保険の加入促進の啓発を行うとともに、各学校では自転車通学生の家庭へ自転車保険の加入をお願いしている。

今後この保険の加入促進の取り組みをはじめ、販売業者への働きかけや声かけなど交通安全活動の推進を図っていく。

### 三根 広次 議員

**質問** 子どもたちの安全確保について

登校中の児童の列に車が突っ込み、児童が犠牲になるという痛ましい事故が相次いでいる。子どもの尊厳を守るために通学路の安全確保や校内・校外の危険箇所の改善など早急に安全対策を強化する必要がある。そこで、子どもたちへの安全対策の現状と今後について問う。

**答弁** 学校では、校内・校外での危機管理マニュアル

を作成している。また、組織的かつ迅速に対応できるよう各種研修を実施している。

今後、事件・事故の未然防止及び事故発生後の再発防止の取り組みを進め、子どもの安全対策の充実に努めたい。

**質問** 県道21号福岡直方線の今後の予定について

勘六橋の架け替え工事を終え、その接続道路であるJR高架下の道路は極めて狭いために周辺住民は危険にさらされている。

今年度より予定されていた県道21号福岡直方線の工事について、境口鴨生田線の今後とも踏まえ、市の方向性について問う。

**答弁** 県の区間延伸の提案に対し、市の財政負担の増加を理由に回答を一時保留したものの、昨年度、県で事業認可を取得してもらった。早急な整備が必要なため、市長からも県土整備事務所長に対して整備促進の要望を行ったところであり、早期の整備に向け、市としても協力していきたい。

### 澄田 和昭 議員

**質問** (仮称) 保健福祉センター建設に係る進捗状況と今後の方針について

昨年3月議会に一般質問を行って以降、現在の進捗状況について問うとともに、市長は所信表明において、中心市街地の活性化に寄与できるように駅周辺への立地の可能性を探ると言っているが、具体的な案はあるのかを問う。

**答弁** 本年3月末に完成した保健福祉センター基本構想案では、現中央公民館の敷地を建設予定地としていた。この基本構想については、5月に市民の声を聞くためのパブリックコメントを実施する予定であったが、新市長による見直しの意向があるため未公表となっている。

中心市街地の活性化に寄与できるよう、従来の予定地であった西鉄バスセンターの跡地を含め、駅周辺の立地の可能性を探っていきたいので、もうしばらく時間をいただきたい。

### ぜひ、議会の様子を ご覧ください

市議会とは、どなたでも議場で傍聴することができま  
す。また、インターネット  
中継及び録画放映も行つて  
います。傍聴に来られない  
ときや聞き逃してしまった  
議案・一般質問などをご覧  
いただけます。

本市ホームページの「お  
役立ちコーナー」または、  
直方市議会をクリックして  
いただき、「インターネット  
中継」よりご覧ください。

※録画放映は、議会当日終  
了後から1週間程度かかり  
ます。

議会閉会後には、本紙に  
より議会の様子をお知らせ  
していますが、詳細な議  
録もホームページからご覧  
いただけます。また、図書  
館にも備えていますので、  
ぜひ、ご覧ください。

※会議録は、次の定例会の  
約2週間前に公開されます。



### 令和元年9月定例会日程

9月13日(金)	提案説明
14日(土)	休会(休日)
15日(日)	休会(休日)
16日(月)	休会(休日)
17日(火)	一般質問
～	～
20日(金)	一般質問
21日(土)	休会(休日)
22日(日)	休会(休日)
23日(月)	休会(休日)
24日(火)	休会(議案審査)
25日(水)	質疑
26日(木)	休会(議案審査)
27日(金)	質疑
28日(土)	休会(休日)
29日(日)	休会(休日)
30日(月)	委員会
～	～
10月3日(木)	委員会
4日(水)	採決

・本会議、各委員会の開議は、午前10時からです。  
・日程、開議時間は変更される場合がありますので、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。